

「サマーキャンプ in ぎふ」参加のための Q&A

Q1. 日本語力はどの程度必要ですか？

A. 各種体験プログラムはすべて日本語で行われます。英語による説明は一切しませんが、日常会話の聞き取りができれば大丈夫です。第 1 期の学校体験では、通常授業に参加してもらいますが、学年相当の読み書きができなくても、日本の学校生活の雰囲気を感じ、日本の子どもたちとの交流を楽しんでいただきたいと思います。なお、学校体験では学年を下げることもできますが、同年齢の子どもと交流することが重要だと考えますので、あまりお勧めしません。日本語力や学校体験に関してのご相談は、主催者の米日教育交流協議会にご連絡ください。

Q2. どんな部屋に宿泊しますか？

A. 期間中の 10 日は、元小学校の建物を改修した宿泊研修施設ラーニング・アーバー横蔵に宿泊します。10 畳ほどの広さの畳の部屋で、3~5 人が同室となります。ホームステイではご家庭の実情に合わせて部屋を用意していただけます。寺院では広い部屋と一緒に泊まります。他にバンガローでの宿泊も予定していますが、5 人程度と一緒に泊まります。もちろん、男女は別々の部屋です。また、原則として、ベッドではなく各自が布団を敷いて眠ることになります。

Q3. ホストファミリーはどんな方々ですか？

A. 活動拠点の揖斐川町や近郊の町にお住まいの方々にお願いしています。親子孫の三代という家庭が多いですが、ご夫婦お二人だけのご家庭もあります。ホストファミリーのご要望に応じ、1 家庭に 2 人以上でお世話になります。

Q4. 昼食が自己負担となるようですが、いくら位かかりますか？

A. 各種体験プログラムに昼食が含まれることもありますので、各期とも 2~3 回程度です。昼食が自己負担となる場所は、宿泊研修施設の食堂、史跡・名所見学で移動中のドライブイン、寺社の門前町などがあります。金額は注文する食事によって異なりますが、概ね 500~800 円です。また、第 1 期の学校体験の給食代(300 円前後)も自己負担となります。

Q5. お小遣いはどのくらい必要でしょうか？

A. 自己負担となる昼食代以外にお菓子や飲み物代、お土産代などとして現金が必要です。外出先以外ではほとんど使うことはありませんが、飲み物は宿泊施設の自動販売機で買えます。例年ジュース代にかなりの金額を使用する子どももいます。お小遣いの金額は保護者にお任せしますが、お金や貴重品はご本人に管理していただきますので必要最低限でよいと思われます。

Q6. どんなものを持って行けばよいでしょうか？

A. 持ち物については、参加者に 6 月初旬に送付する「参加者ガイド」に記載します。基本的な持ち物は、着替え、洗面用具、タオル(大・小)、水着、ビーチサンダル、屋内用シューズ、2 泊 3 日分の荷物入れられるバッグなどです。1 期の場合は学校体験用として、筆記用具、ノート、体操服などが必要です。中学生・高校生の場合は制服に準ずる服装(白の襟付きシャツ、黒または紺色の長ズボン・スカート)、無地の水着なども必要です。

Q7. 期間中に洗濯はできますか？

A. 長期滞在となるため、宿泊施設で洗濯機と乾燥機を無料でお借りすることができる予定です。洗濯をする機会は 3~4 回はあります。洗濯の仕方は、現地でお教えします。

Q8. 持って行ってはいけないものはありますか？

A. ゲーム機、携帯電話、PC、その他貴重品の持込を禁止しています。自然の中で共同生活を楽しく有意義に送るためには必要ないものです。また、盗難や破損などの事故を避けたいと思います。

Q9. キャンプ中に急用がある場合、連絡できますか？また、様子も知りたいのですか？

A. 米日教育交流協議会のインストラクターが日本で使用する携帯電話の番号を緊急連絡先としてお知らせします。また、キャンプ期間中に2回程度は、E-mailで近況のご報告する予定です。

Q9. 日本の健康保険に加入しているので、海外旅行傷害保険には加入しなくてもよいですか？

A. 日本の健康保険は病気や怪我の治療費はカバーされますが、入院や手術に関する費用はカバーされません。また、主催者はこれらの費用を一切負担することはできませんので、必ず海外旅行傷害保険に加入されるようお勧めします。海外旅行傷害保険の加入に関しては、IACE TRAVE アジア課にお問い合わせください。

Q10. 病気や怪我をしたらどのように対応してもらえますか？

A. 最寄の病院または診療所にて診察を受け、必要な治療を施していただきます。診察代や治療費、薬代は、主催者が立て替えますので、お迎えの際に現金にてお支払ください。保険の種類にもよりますが、海外旅行傷害保険の場合は一定の金額までは100%自己負担となります。日本の健康保険をお持ちの方は、保険証の原本があれば規定の負担率での支払いができます。なお、医師の判断によっては、キャンプの継続を中止し、保護者の方に迎えに来ていただくこともあります。

Q11. 何人くらい参加しますか？

A. 毎回異なります。2009年の参加者の様子は次の通りです。第1期：18人、第2期：10人。小学生：8人、中学生：18人、高校生：2人。男子：14人、女子：14人。

Q12. キャンプではどのような方が面倒を見てくれますか？

A. 米日教育交流協議会・代表の丹羽が責任者兼インストラクターとして常時同行しています。また、NPO法人ぎふいび生活楽校のスタッフ、宿泊研修施設ラーニング・アーバーの従業員の方々も参加者のサポートに協力いただきます。

Q13. 実施期間の途中から参加したり途中で帰ることができますか？

A. できる限りすべての期間参加されることをお勧めします。参加されない期間の費用は調整しますが割高になります。詳細については、IACE TRAVEL アジア課にお問い合わせください。

Q14. 保護者が一緒に宿泊することはできますか？

A. 初日と最終日は、部屋が空いていれば宿泊していただけます。詳細は参加者宛に6月初旬にお送りする「参加者ガイド」にてご案内差し上げます。

Q15. 集合・解散場所までは保護者が送迎するのですか？

A. 保護者または保護者の依頼された成人の方に送迎をお願いします。お子様が単独で国内移動をされる場合や単独で渡航される場合は、IACE TRAVELのスタッフがアシストできます。詳細は、IACE TRAVEL アジア課にお問い合わせください。

回答者：米日教育交流協議会（UJEEC）代表 丹羽筆人

《お問い合わせ先》

米日教育交流協議会(UJEEC) 電話：1-248-346-3818 E-mail：info@ujeec.org

IACE TRAVEL アジア課 電話：1-866-735-4223 E-mail：info@iace-asia.com